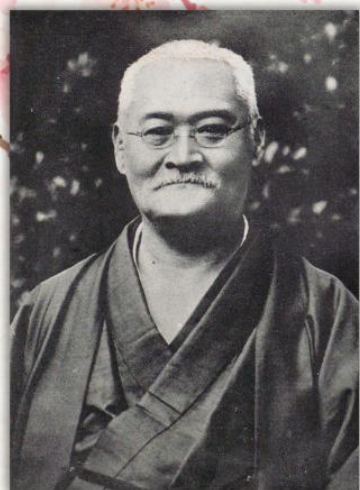


12/
wed.23



田山花袋
(1871～1930)

くふるさとの魅力を再発見しませんか？

解説

館林市教育部文化振興課
田山花袋記念文学館
学芸員 阿部弥生・井坂優斗

千代田町赤岩を舞台にした
河そひの春他

田山花袋解説・朗読会

千代田町出身俳優 加藤亮佑さんと田山花袋記念文学館学芸員による



加藤亮佑

邑楽郡千代田町出身。
ニナガワ・スタジオにて、演
出家・蜷川幸雄に師事。蜷川
作品に出演した後、多くの映
像、舞台等に出演中。
＜ラジオドラマ＞
NHK-FM 青春アドベンチャー
『お梅は呪いたい』 鳴海幸一
役 (2026年11月放送予定) 他

2026年12月23日(水)

13:00 開場 / 13:30 開演 /

15:30 終了予定

コスメ・ニスト千代田町プラザ ホール

群馬県邑楽郡千代田町赤岩1701-1

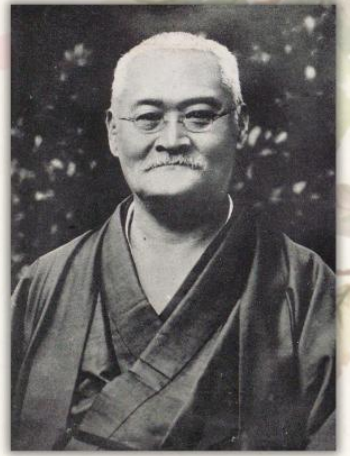
TEL 0276-86-6311

入場無料

全席自由

田山花袋

解説・朗読会



千代田町出身俳優 加藤亮佑さんと田山花袋記念文学館学芸員による

たやまかたい

田山花袋

田山花袋（1871～1930）は、現在の群馬県館林市に生まれ、明治から昭和初期にかけて活躍した小説家。『蒲団』『田舎教師』などの作品で知られ、日本の自然主義文学を代表する作家である。

自然や人々の暮らしを細やかに観察し、自身の体験や心情をありのままに描いた作品を数多く残している。特に、身近な風景や日常生活を題材とした写実的な描写に大きな特徴がある。

故郷である上州への思いも深く、群馬の自然や風土、人々の姿を作品の中にたびたび描いた。利根川をはじめとする河川や田園風景など、当時の上州の風景を伝える作品も多い。

代表作には『蒲団』『田舎教師』『生』『妻』『重右衛門の最後』などがあり、明治期の文学と人々の暮らしを今に伝える重要な作家として評価されている。

～河そひの春～

かとうりょうすけ

加藤亮佑



明治学院大学卒業。ニナガワ・スタジオにて演出家・蜷川幸雄に師事。蜷川作品の出演を経て多くの舞台、映画などに出演。イベント出演として、忍城おもてなし甲冑隊（埼玉県行田市）に正木丹波守役で忍城址を拠点に全国各地や海外で殺陣・演舞を披露。TVなど多数のメディアに出演。最近では群馬県立館林美術館での舞台出演など、群馬県でも活躍の場を広げる。

【最近の主な出演作】

〈映画〉『ナンバーワン戦隊ゴジュウジャー 復帰のデカソード』（東映）/ 『ものがたりの予感』、『Saravah』（監督：鯨岡弘識※日テレ『ぼくたち家』演出） 他

※主演映画『ものがたりの予感』は「ぐんま次世代映像クリエイターコンペ2024」で最優秀賞を受賞。出演映画『Saravah』は第39回東京国際映画祭アジアの未来部門、第27回TAMA NEW WAVEコンペティション部門に選出。各映画祭にて2026年10,11月上映予定。（上毛新聞 2026年10月18日（日）社会面に掲載）

〈ラジオドラマ〉NHK-FM 青春アドベンチャー『お梅は呪いたい』（演出：佃 尚能）鳴海幸一役（2026年11月放送予定）



出演情報等
SNSで更新中